



	市町名	ご意見	分類項目												
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
335	津市	今回の三重県議会議員の選挙区および定数の見直し(中間案)の内容では、定数1の選挙区が増加し、「死票」が増えることになるとともに、検討課題への対応が先送りされたものとなっており、不十分なものであると言わざるを得ない。15回もの検討会議をもちながら、このような中間案にまとめざるをえなかったところに会派、議員自身の利害が見え隠れしており、自分たち自身で選挙区の区割りを見直すことなど、到底無理なことであることを露呈した結果である。議員自身の利害ではなく、真に県民のことを考えた改革案をまとめるのであれば、有識者や幅広い民間人の代表をいれた第三者機関による検討会議を立ち上げ、そこからの意見を尊重したものにすべきである。					○						○		
336	不明	議会制民主主義という観点で考えるならば、「一票の格差の是正」というのは、ものすごく正しいように聞こえるが、実のところは人口過疎地域の議員定数を削減することによって地方の少数の声が届きにくくなってしまふことが懸念される。また、「鳥羽市と志摩市の選挙区を合併させる」という意味がよくわからない。それぞれの地域が抱えている課題が違うのに、単に効率論だけの合併や議員定数削減は行うべきではないと思います。				○									
337	不明	今回の選挙区及び定数の見直し案について、定数削減については一定評価できる。しかし、県民の意見を議会に反映できるようにするためには、定数1選挙区が6選挙区に増えているのは再考すべきである。また、今回の見直し案の適用は2020年の選挙からとなっている。それなら、2016年の県議会で初当選した議員の意見を十分聞き、選挙区や定数は2017年に実施される国勢調査の結果を反映すべきである。					○			○					
338	伊賀市	・最初に定数削減についてですが反対です。定数を削減することにより一人区が増えることです。地区民の意見が一議員(党派)の意見となる恐れがあることから一人区はなくすべきです。(少数派の意見が反映されない)・次に一票の格差是正ですが、都市部と山村部(過疎地)では有権者の行政に対しての意識の違いもあり一概に倍率では計れないと思います。(都市部の投票率が低く山村部が高い)定数削減や格差是正の議論も大切ですが、県民(若年層)の県政への関心を持たせることが大切ではないかと思えます。					○								
339	いなべ市	中間案を見させていただきました。何度も検討いただき、県下の議員定数が6名が削減されるあたり、良い方向だと思います。しかし、以下の点につきましては、再検討いただけたらと思います。まずは、定数の変更では、定数1の選挙区が増えることです。私たち県民は、できるだけ多くの県民の声を聞いていただければと考えて投票します。そんな時に定数1の選挙区では多くの票が、多くの県民の声が反映されなくなることが予想されます。県議会に、少しでも多くの県民の声を生かしていただくためにも、定数1の選挙区は少なくするべきだと考えます。一県民として、自分の意見は反映されなかったとき、県政についても無関心になることもあるのではないかと感じました。次に、現状で行くと、この中間案はH27年5月1日以降の一般選挙から適用ということなのに、今の県議会議員で決めてしまっているの难道うか?という点です。H27年4月には地方選挙があると思います。その時には、新しい議員さんたちも入っているのではないのでしょうか。その後の一般選挙から適応ということならば、次回の地方選挙後の議員さんたちで、もう一度、選挙区や定数を見直していくのがベストではないのでしょうか?新しい議員さんたちとしては、自分の関わっていない頃の議論で決まったのでは、自分を支持してくださった人への説明すらままならないのではないかと思います。こうしたことから、今回の中間案は、定数削減は賛成ですが、民意の反映といった点で、もう少し検討の余地があるものだと感じます。					○			○					
340	御浜町	前略、連日のご公務ご苦労様です。さて、上記の件について、現在出されている中間案に県内の南に在住する者として、不安や不満を抱きパブリックコメントに参加させていただいた次第です。今中間案の問題点として、①定数1の選挙区が6選挙区にも増えていること、②その6選挙区が、三重県南部に偏っているということ、があげられます。これら2点は、「1人区が増えることで、住民の声が県政に届かなくなる」ということや「投票に行かなくなる、つまり死票が増える可能性が高くなる」ということが懸念され再考および再検討を早急にすべきであると考えます。たった1年間で15回の委員会で県政を考えようとせず、もう少し県民の声も視野に入れた議論を、しっかりと欲しいと思います。	○				○								
341	朝日町	定数の見直し案について、一人区が多数できることに不安を感じます。というのも、一人では、地域住民の声を十分に受け止め、県政に反映していただくことが難しくなると考えるからです。また、今回、新たに一人区に変更される地域は、県南部に集中しており、県政が中・北勢地域中心に行われるのではないかと危惧されます。このようなことから、一人区を作らないために合区にするなど、可能なところは、新しい法に則って見直しをすすめることを検討していただくよう要望いたします。	○				○								
342	志摩市	定数削減については一定評価できるが、定数1の選挙区が増えると多様な民意が反映されず「死に票」が増えることが心配されるので再検討が必要と思う。また、今回の見直し案が2020年の選挙から適用されるのであれば、拙速に結論を出さず、2016年の県議選で当選した議員の意見を十分に聴いてから決定してはどうだろうか。					○			○					

	市町名	ご意見	分類項目															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
343	鳥羽市	北部に企業が集中し、それにつれて人口が増すのは当然です。南部は若者の働ける仕事が少ない為、他の地域へ流出し、人口は減少するばかりです。近いうちに南部は高齢者ばかりの地域が増すことは自然のなりゆきです。住民の声を代表して県議会に届ける県議も居なくなる可能性もあるとなると、住みよい三重県は北部だけでよいのでしょうか？	○															
344	伊勢市	今回のパブリックコメントを募集されている三重県議会議員の選挙区及び定数の見直し(中間案)の内容は、県議会が特別委員会を昨年1月に設置してから15回の会議で議論された結果ですが、定数1の選挙区が増加し、検討課題への対応が先送りされることなどが懸念されます。また、議会改革に積極的に取り組んでいる三重県議会の検討結果としては不十分な内容ではないかと感じられることから、さらに検討を行うべきではないでしょうか。中間案で定数の削減対象となっている選挙区は、伊勢志摩地域、東紀州地域など県南部の地域となっています。確かに、1票の格差を是正することは重要ですが、余りにも県南部地域に偏って一度に定数を6削減することは、県南部地域に住む県民の県政への意見反映の点からは問題があると考えます。今後の東紀州の活性化が大きな課題であり取り組むべき重要課題です。過疎・高齢化など弱い立場の県民の声が届く三重県議会が望まれます。選挙区の合区なども含めて、定数の削減数を再検討すべきです。	○					○										
345	鳥羽市	現在の定数1名は鳥羽市の特種な地域性を考え、今後も現状維持すべきであり、この中間案については反対します。				○												
346	鳥羽市	選挙区の合区については、鳥羽市と志摩市は地形的には似ているが、生活・文化・福祉・教育などの考え方が違い、経済的なつながりも薄い為、選挙区の合区に反対する。議員定数の削減においても、地域の実情や住民の声を三重県議会(県政)に届けるためには、鳥羽市選挙区1人と志摩市選挙区2人は必要であることから、定数の削減にも反対する。				○												
347	伊勢市	中間案の内容を見ると、総議員定数の削減が主要な目的となっているようにみえます。確かに、1票の格差を是正することは重要ですが、余りにも県南部地域に偏って一度に定数を6削減することは、県南部地域に住む県民の県政への意見反映の点からは問題があると考えます。南北に長く、広大な面積と多様な地域性を抱える三重県の行政サービスを効率的に行えるかを監視・評価する機能を持つ県議会としては、総議員定数の削減の圧縮、選挙区割りの大幅な見直しによる1票の格差の是正も再度検討すべきです。	○															
348	鳥羽市	人口が減ったとはいえ、鳥羽は周辺市との合併の気運もないことから、合区には無理がある。坂手島、菅島、答志島、神島、4つの離島を抱える鳥羽市は1人区で残す事情がある。参考人招致の制度を利用して、専門家や首長、当該議会の意見を聞いたり、公聴会を開くなどして県民の声を聞いていない。以上のことからこの中間案に反対する。				○									○			
349	四日市市	1票の格差を是正するために議員定数の見直しを行っていますが、県内各地域の様々な意見を県政に反映させるためには「死票」を減らすことが大切だと考えます。中間案を見ますと、定数1の選挙区が5区に増える案になっており、これではかえって「死票」が増えることとなります。県民の多様な意見を反映し、「幸福実感日本一」をめざすのなら合区してでも定数1の選挙区を削減する方向で再検討すべきです。						○										
350	鳥羽市	三重県は南部地域ほど人口減少が著しく過疎化が進んでいます。私の住んでいる鳥羽市は2014年4月1日から過疎地域自立促進特別措置法の適用を受けています。鳥羽市には4つの離島があり、行政上も難しい問題が山積しています。三重県議会議員の選挙区及び定数の見直し案(中間案)では各会派からいろいろな案が提示され、平成25年5月1日以降の選挙から適用されるようですが、合区定数減の対象となる地域の住民への周知はされているのでしょうか。多くの人々の関心は低く、議論もされてないように思います。鳥羽市の内情を生まれた時から肌で感じている鳥羽市出身の議員がいなくなれば地域の抱える事情、地元住民の多様な意見が他市出身議員では簡単に理解できるとは思いません。結果的に県議会、県行政にその意見が反映されにくくなるのではないのでしょうか。これは隣の志摩市にとっても同じ事が言えます。一票の格差是正は一率に事務的に進めてもらっては困ります。十分に住民に周知し、時間をかけて議論することが大切です。私は鳥羽市と志摩市選出の3人の議員による公開討論会を開催することを望みます。各議員がこの問題についてどのような意見を持っているのか、また住民がどう思っているのか知りたいです。議員は住民の意見を十分に聞き、その負託に応えなければなりません。鳥羽市の置かれている現状を考えると従来通り1名の定数を確保することを強く望む次第です。				○									○			
351	いなべ市	中間案の内容は、定数を削減することについては良いことだと思いますが、多様な意見を議会へ反映できるようにするには、選挙でのいわゆる「死票」を減らすべきであり、定数1の選挙区を増やすのではなく削減する方向で再考すべきだと思います。						○										

	市町名	ご意見	分類項目											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
352	大台町	少し意見を申し上げます。以前より本地区が2人区として長い間活動的なお2人の議員のおかげで、県政への信頼が高く、安心な気持ちでいられることができました。本地区は、旧宮川村で山岳地域でありますので、よく気象災害等が発生すると、即両議員が現場に駆けつけて下さって、その現状をすみずみまで、適格に把握して、政治の場で復旧に力を注がれて安全な防災工事を施して、再び住みやすい地域に復元されるパイプ役を回って下さっています。もし、2人区が1人区に改定されると、明和町の海から県境の距離が長く広大な面積を有する多気郡内の有事時における事態の把握が出来にくいのではないのでしょうか？当選挙区では、災害面1つに考えても福祉面でも物理的に2人区が1人区になってしまうのは、無理が生じる恐れがあると思われれます。三重県の中央に位置する本地区の議員減案には、私1個人としても納得することができません。今まで通り2人区であってほしいと願っております。					○							
353	玉城町	今回の見直し案において定数が削減となっているのは、南勢地域に偏っていますが、一度に6人の削減は、この地域に住む住民の県政への反映に大きく問題はないのでしょうか？行財政改革を進める上で、定数の削減を考えることは悪くないとは思いますが、選挙区割りや削減数を含めてもう少し時間をかけて検討すべきではないのでしょうか。	○											
354	志摩市	意見を聞いてもらうためには各市に必要なと思います。				○								
355	志摩市	議員の数が減らされると増々意見が届きにくくなる為、この地域の過疎化が止まらなくなります。				○								
356	鳥羽市	鳥羽市 各市で1名の定数でいいのでないか。				○								
357	鳥羽市	地域の意見をとり入れてもらうためにも定数削減は過疎化に拍車をかけてしまうことになると思う。				○								
358	鳥羽市	鳥羽市は4つの離島及び南鳥羽などへき地化が進むなか、鳥羽市に議員がいなければますますへき地の意見も聞いてもらえず、過疎化が進んでしまいます。鳥羽の観光業を支えていく離島・南鳥羽の活性化の為、是非とも市単位で1人の議員を希望します。				○								
359	松阪市	今議論されている、選挙区及び県議定数の見直し案は「一票の格差是正」を主眼においたもので、農林水産業を主産業とする県南部の人口減少地域ばかりである。県南部区域住民の民意代弁者である議員総数(県、市町議員)は、県北部よりはるかに少ない。一方、県南部は県土面積の約半分を占め、過疎等の諸問題を多く抱えている。従って、本県の産業振興、県土保全を考慮すると、特に議員定数の見直しは慎重に協議を進めていただきたい。	○											
360	鳥羽市	鳥羽市は、有人離島が4島(神島・答志島・菅島・坂手島)あり、現在もその島々に約4,000人が生活している。島への公共交通機関は、市営の定期船だけで日常生活の困難さは、三重県内の他の市町とは比較できない。観光や水産業などの産業面だけでなく、教育や福祉など、どの分野をとっても特別な地域である。よって、鳥羽市の状況を理解し、三重県議会(県政)へ伝えるためにも、鳥羽市選挙区の現状維持と議員定数1人は最低限の条件である。以上のことから、この中間案に反対する。				○								
361	鳥羽市	定数の見直しについて反対です。人口の割合で、統合し定数減では鳥羽地区の議員がなくなる場合も有ります。事により鳥羽市民の声が、県政へ届きにくくなる場合が有ります。又、過疎の進む中での減はきつい。				○								
362	鳥羽市	鳥羽市と志摩市が合区して定員を2名とする案 - その結果は決まっています - 私たちの鳥羽市からそれなりの識見と人望もあり地元から強い期待を受けて選挙に臨んでも、その2議席は志摩市が勝ち取り、鳥羽市から絶対に当選できることはありません。はっきりしています。”永遠に0”です。そんなことが解ると、鳥羽市の県議選に対しては、始めから勝負ありでしらせてしまいます。おそらく棄権者が続出するでしょうし、県に対しても関心度は薄くなり、いじめられっ子扱いの気分になります。合区して1名減、絵に描いた餅、いやもっと雑駁な案です。もっと現実をしっかりと理解して慎重に協議してほしい。鳥羽の離島の暮らし、その現状はこの地に住む住民でなければ解るはずがありません。同時に三重県を代表する観光文化都市としての使命もあります。今迄どおり、鳥羽市からは1名の定員は絶対に確保すべきです。今回の中間案には、いきどおりそのものである。				○								
363	鳥羽市	①同地区における複数からの定員減、例えば4人から3人へ(伊勢市の場合)、②合区しておいて定員減、例えば2人から1人へ(尾鷲市、北牟婁郡)(熊野市、南牟婁郡)3人から2人へ(志摩市、鳥羽市)。この場合①と②は意味がちがいます。①の場合はまだなんとかなるでしょう。今回の鳥羽市と志摩市が合区して1人減となれば、まず鳥羽市からは県議員は生まれまいだろう。地元にとっては一大事の話です。こんな無茶な案は承服できない。止めてほしい。				○								
364	津市	三重県議会議員の選挙区及び定数の見直しの内容は三重県議会の検討結果としては不十分です。中間案の内容は、定数を削減している点はよいが、多様な県民の意見をより適切に県議会へ反映できるようにするためには、選挙でのいわゆる「死票」を減らすべきである。しかし定数1の選挙区を現行の2選挙区から6選挙区に増やしており、改めて定数1の選挙区を削減する方向で再考すべきです。また、今回の見直し案が適用されるのは、2019年の選挙からとなっています。でしたら、2015年の県議選で初めて当選した議員の意見を十分聴くとともに、選挙区割りや定数は2015年に実施される予定の国勢調査の結果も反映すべきだと思います。					○				○			

	市町名	ご意見	分類項目														
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
365	伊勢市	今回の見直しにおける大きな目的は、一票の格差是正が大きなものでありますが、削減対象選挙区が、伊勢志摩地域・東紀州地域などとなっており、県南部にその偏りが見えるように感じます。この地域において、一遍に定数を削減することは、当該地域住民による三重県政への思いが伝わり難くなるのが危惧されますが、その対応策について再検討する余地はないでしょうか。	○														
366	東員町	今回の三重県議会選挙区の見直しについて、意見を言わせてください。今回の改正案は、南勢を中心に一人区が多すぎると思います。なぜ、一人区が多いことが問題と感じるかと言いますと、1. 一票の差であっても最多得票数の方が当選されます。しかし、もし、次点の方が、得票数が僅差である場合、半数近くの民意が県政に反映されなくなります。2. 今回の定数減が、南勢に集中していると言うことは、北勢との定数の開きが大きくなり、南勢の県民の民意がどこまで反映されていくのかが、はなはだ疑問に感じます。民主主義の根本である、われわれ県民代表としての県議会議員を県民がきちんと選べられるようにしていただきたい。よろしくお願いします。	○					○									
367	鳥羽市	いつも県民のための議会改革を推進していることに対しまして敬意を表します。ありがとうございます。「三重県議会議員の選挙区及び定数の見直し(中間案)」に対する意見を述べさせていただきます。三重県南部は少子高齢化と人口減少が進んでいるため、工場誘致や地場産業の振興は大変厳しいものがあり、所得格差もなお一層進んでいます。そのことにより南部の県民は将来への生活に対して不安がいっぱいです。そのような陽の当たらないところに、光を当てるのが行政と政治の役割であると思います。一票の格差是正のもとに県南部の合区や定数は正をするということには大きな疑問を感じます。また効率優先の画一的な人口集中地政策でなく、地域が主権となる県政を進めて行くことが大切であると考えます。三重県南部はそれぞれの地域で様々な歴史、民俗文化を有しています。そのような生活者の中からユニークな発想があふれてくるのではないのでしょうか。その文化や資源を大切に子孫に継承するためには県議の役割は益々大きくなっていくと思います。多様な地域の県民の声を聞いて三重県政に反映するのが議員の役割であると思います。離島という特殊な地域性を考慮すると、離島を抱える鳥羽市と志摩市の選挙区を合区することは理解できません。私の尊敬する先生に「ニワトリの飼いはニワトリに聞け」と言われました。今回の改正についてもっと県民や地域住民、そして第三者の意見を十分に聞く必要があると考えます。そのためには参考人制度や公聴会制度を十分に活用すべきではないでしょうか。議会改革先進県の三重県議会ですのでぜひ進めていただきたいと思っております。三重県議会の益々のご活躍をご期待申し上げます。	○			○							○				
368	熊野市	三重県議会議員の選挙区及び定数の見直しに対して考えを述べます。私の住む地域も該当地域で、熊野市・南郡で2のところ1に…という案になっています。ですが、私の住む地域は住民の数では少ないものの面積はともかく、1人ではとても網羅できないのではと思われれます。高齢化が進み、私も医療のお世話になっていますがきつてもきれいなものです。地元の公立病院(1つ)では専門医の常駐がなく月1回の派遣という科もあり、私は治療中でそこにその日に通っています。建てかえの話もありますが、今暗礁にのりあげています。様々なことで不安がいっぱいです。そういった地元の事情を知る議員さんが一人では、県政に遠くはなれた私たち南部の県民の声が届くでしょうか。一票の格差をなくすということに目をむけて生まれる一人区で多く生まれてしまう死票という不公平にも目をむけて下さい。ぜひ見直しを要望します。						○									
369	伊勢市	・議会内部だけでなく、広く県民の意見並びに説明会を開催して下さい。・単純なる人口割合でなく、広く地域性・特殊性も入れていただきたい。・国会の方は何ら違憲判決が出て改善されていないのに、県会だけすべきでない。よく考えていただきたい。経費の面であればもっと減らすべきものは無いのですか?合区により選挙区が広がっては、今後の県民の意見をどうやって聞いていただくのですか。再考を願いたい。													○		
370	伊勢市	議員定数が南部で6名減少し、北部はそのままだとおかしいと思う。地域の声を吸い上げるには現状維持の議員は必要だと思う。	○														
371	鳥羽市	鳥羽市選挙区と志摩市選挙区の合区及び議員定数の削減に反対する。議員の定数削減ありきでなく、基準となっている都市部の選挙区(亀山や鈴鹿)の定数を増やす選択肢も議論すべきである。以上のことから、この中間案に反対する。				○				○							
372	鳥羽市	鳥羽市は、有人離島が4島(神島・答志島・菅島・坂手島)あり、現在もその島々に約4,000人が生活している。島への公共交通機関は、市営の定期船だけで日常生活の困難さは、三重県内の他の市町とは比較できない。観光や水産業などの産業面だけでなく、教育や福祉など、どの分野をとっても特別な地域である。よって、鳥羽市の状況を理解し、三重県議会(県政)へ伝えるためにも、鳥羽市選挙区の現状維持と議員定数1人は最低限の条件である。以上のことから、この中間案に反対する。				○											
373	鳥羽市	議員定数は人口だけでなく、面積や離島、海域など、地域特性に十分配慮すべきであり、画一的な選挙区の合区や定数削減は認められない。議員定数削減ありきのこの中間案に反対する。				○											

	市町名	ご意見	分類項目												
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
374	鳥羽市	鳥羽市の市域(面積)は大きくないが、離島航路などの必要な海域を加えると大きな面積となる。また、人口面においても全体の人口は約21,000人と少数であるが、交流人口を加えると、人口規模以上の体制づくりを考えていく必要がある地域である。議員定数は人口だけでなく、面積や離島、海域など、地域特性に十分配慮すべきであり、画一的な選挙区の合区や定数削減は認められない。以上のことから、この中間案に反対する。				○									
375	鳥羽市	選挙区の合区については、鳥羽市と志摩市は地形的には似ているが、生活・文化・福祉・教育などの考え方が違い、経済的なつながりも薄いため、選挙区の合区に反対する。議員定数の削減においても、地域の実情や住民の声を三重県議会(県政)に届けるためには、鳥羽市選挙区1人と志摩市選挙区2人は必要であることから、定数の削減にも反対する。				○									
376	松阪市	今回の三重県議会議員の選挙区及び定数の見直し(中間案)について、定数1の選挙区を6選挙区にして定数削減をするとありますが、これによって人口の少ない地域の人々の意見が反映されにくくなるのではと心配です。三重県のような多様な地域性をもつ県であるからこそ、偏ることなく、県民の意見を聴き、議会で反映されるべきではないでしょうか。そうすることにより、都市部だけでなく、県全体の発展につながるのではないかと考え、今回の案について、再考をお願いしたいと思います。						○							
377	紀北町	中間案で定数の削減対象となっている選挙区は、伊勢志摩地域、東紀州地域などとなっています。1票の格差を是正することも大事なことだと思いますが、県南部地域ばかりを対象に6削減することは、いかがなものでしょうか。私達南部に住む県民の意見が反映されなくなる恐れがあります。選挙区の統合等も視野に入れて、再検討をお願いいたします。	○					○							
378	松阪市	<p>まずは、選挙区調査特別委員会メンバーの皆様。1年間の長期に渡る15回の議論お疲れ様でした。議場、ネットで何回か傍聴する事ができました。活発な議論が県民にオープンな場で行われたのはいつもながら三重県議会の素晴らしいところだと思います。私みたいに県議会を間近で見ている県民はほんの数名しかいません。15回の議論の経過も知らずにパブコメを求めても無理があると思います。私も傍聴に行った12月2日の各会派の提示したのも資料として添えてもらいたかったです。2011年県議選の選挙公報を見直していると議会改革の一例として議員報酬や議員定数を具体的に削減数を示して当選している議員もいます。最も削減に積極的な議員は定数を51名から40名にするとあります。選挙公報等で定数を明確に出した議員の方々は中間案に反対する事もできたはずですが。全会一致で決まったと言うことはいかなる理由があろうと結果として「有権者への裏切り行為」です。中間案に賛成した経過と理由をしっかりと説明する責任があります。最近SNSを通じて議員と県民の距離が縮まったと感じています。食事やイベント出席の写真ばかりを公開している時間があるならご自身の考えも書いていただきたいです。(私は2011年の選挙で定数を〇〇人に削減すると訴えましたが力が及ばずできませんでした。では言い訳ですから!)本来ならば改選2年前(つまり昨年の春頃)までに中間案ができて1年間を全議員が出前県議会のように各地に出向いて県民の生の声を聴くべきでした。もう時間がないので仮に中間案で決定なら2015年の県議選で選ばれる新しい議員で中間案をベースに見直し含めてこのようなパブコメだけでなく各地に議員が出向いて県民の生の声を積極的に聞いてもらいたいです。最後になりますが、今後の議論の参考としていただければ幸いです。</p> <p>①任期中に首長選挙等に出馬されて辞職に伴い欠員が生じた選挙区【A】と無投票になった選挙区【B】を無条件で次回からの定数を1減する。(議員死去と補選が行われる選挙区は除く)→2011年実施の選挙で該当する選挙区【A】松阪市【B】いなべ・員弁郡、名張市、伊勢市、志摩市、度会郡</p> <p>②議会で議員だけが議論するだけでなく県民の意見を聴ける場を年に数回は実施する。後援会だけでなく幅広い県民との意見交換の場をできるだけ多くしていただきたい。</p> <p>私の予想では多くのパブコメは「定数削減を先送りした三重県議会」と批判が圧倒的多数だと思われます。最終的に「全会一致」で了承とあります。特別委員会を設置して長時間議論して最終的には50名の全議員で決められたことですからこの中間案を以上の条件付きで評価して支持したいと思います。</p>									○	○			

	市町名	ご意見	分類項目												
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
379	大台町	議員定数見直しについては以前からいろいろな意見を聞いていますが、山間部に住む県民として私の意見を申し上げます。平野部の人口の多い市町は、ここで生活が成り立ち、企業や立地条件のよい位置にあり、安定した生活が保障されている。議員さんの活動は何を目的として行うべきかを考えた時、市町のことは市町の議員さんが責任をもって活動されていると思います。県土全体の行政については、山間部から平野部まで、それぞれ異なった課題が多くあり、それぞれの住民の意志を反映させるには議員の削減ではなく報酬を下げてでも議員さんが活躍していただき、私達が住む三重県を盛りあげていただきたい。私達の住む地区は2人から3人は必要と考えています。												○	
380	熊野市	1票の格差を是正することに関しては重要に思いますが、あまりにも県南部に削減案が偏っています。格差是正を考えるのであれば、県北部の定数を増やすと言う考えもあると思います。また、定数1の選挙区が6選挙区に増えており「死票」が非常に多く出てしまいます。より多くの県民の意見を反映出来るものにはなっていないと思いますので、定数の削減数を再検討すべきであると考えます。	○				○		○						
381	鳥羽市	定数の見直し(中間案)で志摩市と鳥羽市が一つの地区になり3人の定数が二人になるとの事ですが、鳥羽市の有権者数で選挙をしたら鳥羽が勝利することは不可能である。経済においても観光産業だけではなりたないのはお解りと思うが、特に人口の20%は離島で生活している。そのほとんどが漁業で生計を立てている。現状は町の人からみたら大変厳しい環境であります。そんな不便な地域において県に声を届ける役目の人が居なくなったらまさしく地方切り捨ての政治、私達一人一人ちゃんと税金も払っている事も忘れないでほしい。どうしても定員一人減らしたいのなら、志摩1名、鳥羽1名であるべきです。				○									
382	津市	三重県議会議員の選挙区及び定数の見直しに対し意見を述べるチャンスが一県民にも与えられた事に開かれた議会を感じ、又15回にもおよぶ選挙区調査特別委員会開催により、議員自ら身を削る方向で合意に至った事に敬意を表します。資料1の(中間案)は、格差2倍を超える5選挙区を解消し、最大格差1.6倍とバランスの取れた改正案であり、強制合区解消を行った点は非常に評価できます。ただ、法定上限数58名に対し45名まで減員すると、減少地域が、今後より一層の発展を期待する県南部地域に集中する事が気になります。この地域は、今年度「伊勢神宮第62回式年遷宮、紀勢自動車道開通」と三重県にとってビッグイベントが開催された地域であり、このチャンスを逃すことなく活性化対策を打つべき時と考えます。又、資料2の議員1人当たりの面積も、この地域は非常に大きく該当議員には負担も大きいと考えます、これらも加味する方法は無いのでしょうか。	○												
合計			81	6	18	183	92	39	19	42	41	19	10	9	